

保護者の皆様へ 高校総体ハンドボール競技の観戦について

平素より部活動へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

本県において新型コロナウイルス感染症の「まん延防止等重点措置」が5月末日まで延長され県民全体で感染拡大への取組を強化しなければならない状況が続いています。

令和3年度県高校総体ハンドボール競技の観戦について、大会1・2日目は無観客での実施、大会3・4日目は登録選手の保護者1名のみでの入場を許可することにいたしました。ただし、新型コロナウイルス感染状況や借用施設の条件等によって全日程無観客の可能性もございます。

まず、前年度の県高校総体は登録選手と3年生のみを試合会場に入場させ、登録選手以外の1、2年生は体育館の外で待機させました。新型コロナウイルス感染症対策とはいえ、高校生の集大成の大会でチームを分断させるような状況になりとても心苦しい思いでした。ご批判も多くありました。

そこで今大会は全部員入場させることを最優先とし、大会1・2日目は、大会会場が複数あり入口で入場をチェックする職員が不足することと、体育館内での密を避ける目的で保護者の皆様（保護者代表によるビデオ係も含む）には入場をお断りする判断をいたしました。

大会3・4日目を登録選手の保護者1名のみでの入場を許可する理由については、会場が豊見城市民体育館の一か所だけであり、会場入口での入場券の回収や検温をする職員が確保できることにあります。大会3日目、4日目に勝ち上がったチームには、入場する保護者名を記入する入場券を登録人数配布する予定です。先ほど述べたように、全部員を入場させることを優先し、会場の座席数を考えたとき「登録選手の保護者1名のみでの入場を許可する」結論にいたりました。

結果的にベスト4以上からの保護者のみが入場できる形になってしまいましたが、勝ち上がりには関係なく全てのチームにおいて、保護者の協力のもと部活動を通した高校生の成長があると思います。

試合をやっている姿を見ると、家庭で見る表情とは違う一面を見ることができ、子どもの成長を感じることができる機会の一つと思います。さらには、おじいちゃんおばあちゃんにとっても、孫の頑張りが元気の源になるのではとも思います。

新型コロナウイルス感染症対策とはいえ、全ての保護者の皆様に試合を観戦する機会を作れなかったことは本当に申し訳ありません。高校生のハンドボールができる場と、高校生活での成長できる場を、私たち大人が力を合わせて実現できればと思っております。

改めて日頃の子どもたちへのサポートに感謝申し上げます。引き続きご協力を頂ければ幸いです。

令和3年5月13日(木)

沖縄県高等学校体育連盟ハンドボール専門部

部長 宮城薫

委員長 高良大輔